



財団法人

さいたま緑のトラスト協会

〒330 9301

さいたま市浦和区高砂3-15-1
埼玉県環境防災部みどり自然課内

電話 048(824)3661

会費年額

個人 大人 1人 1,500円

小・中・高校生 1人 1,000円

家族 1家族 3,000円

グループ(5人以上) 1人 1,000円

法人 1口 10,000円

平成16年1月5日発行

ホームページアドレス <http://www.pref.saitama.jp/A09/BD00/trust/top.html>

茶畑からトラスト2号地と堀口天満天神社を望む

茶室から見えてくること

二十年程前から、友人に誘われ、都内の茶室に通うようになった。茶室の主はその友人の岳父にあたる人で、茶人であった。月一回、男共五、六人が、茶の湯にまつわる話を聞き、お茶を頂戴し、自然にお点前も習うようになった。

やがてその日は我々の得難いものとなっていた。仕事に追われる日々と流れる時間の速度が違う。茶室周辺を掃き清め、水を打ち、蹲の水琴窟に耳を敬てる。ほんやりと路地に眼をやると、草木が語りかけて来るような心地がしてくる。茶室には電灯以外文明の利器は存在しない。まるで五十年前に戻ったようだ。冬は、炉の炭火で暖をとる。夏、室内は風を通す工夫に満ちている。打ち水の効果にも改めて気付かされた。寄り付きと床に花を生け、炉に火を入れ、茶道具を洗い清めてゆく一時間がいとおいしいような気がする。

先日、上野の国立博物館で開催された大徳寺聚楽院襖絵展を覗いてきたが、狩野永徳ら画人の自然を写し取る観察力、描写力に感嘆させられた。別の日、茶会で床に掛けられた円山応挙描く鴨は軸から飛び立たんばかりで、一番の馳走だった。古来、日本人は花鳥風月を殊のほか愛し、物語・詩歌の文学、絵画など、自然を表現することに意を尽くしてきた。その積み重ねが日本独特の文化を培ってきたといえる。

自然環境が損なわれ、花鳥風月に想いをめぐらす機会が少なくなってきたことを実感する。自然と向き合い感応し、豊かな芸術を生み出してきた日本人がその対象を喪失したとき、日本の文化はどう変質していくのだろう。茶室での時間は、そんなことをあらためて考えさせてくれる。

(文と写真 協会ボランティアスタッフ 相沢 与剛)

「第二十一回 ナショナル・トラスト全国大会」の報告

平成十五年十一月八日(土)・九日(日)の日程で、「世田谷から考える都市型トラス」とボランティアをテーマに、東京都世田谷区の北沢タウンホールで第二十一回 ナショナル・トラスト全国大会が開かれました。大会初日は、開会式に引き続きトラスト活動団体報告と記念講演、そしてシンポジウムと分科会が催されました。

活動団体報告では、(財)トトロのふるさと財団の廣井理事長から活動の概況説明があり、その中で、トトロのトラスト活動が契機となり、トラスト二号地の取得につながった経緯が紹介されました。



シンポジウムの様子

た、トラスト運動の土地の買い取りを否定す

記念講演では、進士東京農業大学学長から「環境市民のすすめー都市型トラストを考える」をテーマに、環境に理解のある「環境市民」を育てるためには、環境教育と実際の体験をさせることが大切なことであり、ま



会場ロビーでは各団体の展示も

るものではないが、それにこだわらず、都市では、目的(緑を守り、育て、活かすこと)で考えることが大切ではないかなどのお話がありました。

「世田谷から考える都市

型トラストとボランティア」をテーマにしたシンポジウムでは、活動の場の問題、人材育成の問題が提起され、求心力のあるよいコーディネーターがいないと運動は長続きしないのではとの議論がありました。

六つのテーマに分かれた分科会のうち、トラストが目指す法制・税制改革とは」の分科会では、特定公益増進法人の認定を取得しやすくすること、土地の買い取りに際し、行政なみの税制優遇を適用すること、ナショナル・トラスト法を制定する時期にきていることなどが話し合われました。

大会二日目では、「日本型ナショナル・トラスト運動の展望」と題して、フォーラムが開かれ、前日の分科会の報告と会場を交えた議論が活発に行われ、日本型のあり方として、活動対象地の位置づけをきちんとし、目標設定をしたうえで、それをアピールする事が大

切ではとの話がありました。

大会のまとめでは、都市型トラストは、持つことから目的を重視し、緑を保全・活用することはないかとの総括がありました。

トラスト協会支部の設置とボランティアスタッフ登録のお願い

トラスト協会では、トラスト地の保全活動やトラスト地を活用した自然観察会等を実施するなど、トラスト運動を活性化させるために、各トラスト地ごとに支部の設置を進めています。

現在、トラスト一号地(さいたま市)と七号地(岩槻市)で支部ができ、一号地では毎月第一と第三土曜日午前九時から、また、七号地では毎月第四土曜日午前九時から、それぞれボランティアスタッフがトラスト地の保全活動を実施しています。

今後、各トラスト地ごとに支部を作り、定期的な保全活動やトラスト地を使った自然観察会、トラスト協会会員募集などのトラスト運動を進めていきます。そして、協会がボランティア保険への加入やこれらの活動に物的・財政的支援をしていく予定です。

現在、各トラスト地ごとの各支部で、これらの活動を行い、協会を支援していただけるボランティアスタッフを広く募集しています。関心のある方、希望される方は、協会事務局までお問い合わせください。

自然に親しむ会

「黒浜沼 秋の野草を訪ねる」(報告)

十一月一日(土)、蓮田市の黒浜沼周辺を会場に、トラスト協会の会員や地元蓮田市などからの一般参加者など二十五人が参加し、自然に親しむ会が行われました。



案内役の木村さんの説明を聞く参加者

協会ボランティアの木村豊さん、本田ヤスさん、そして特別講師として元埼玉県薬剤師会薬用植物委員会副会長の加藤金子さんを案内役に、開かれま

した。黒浜沼の自然保護活動をしている黒浜沼周辺の自然を大切に作る会が制作に協力した蓮田市制作の「黒浜沼の自然」のビデオで事前学習をして、散策に出発しました。途中二班に分かれた観察会では、クズ、イヌタデ、ハツカ、ヨメナ、ミスヒキなどが、また、黒浜沼ではコサギ、バン、カワウ、カイツブリなどの野鳥も観察できました。

自然に親しむ会

「トラスト三号地(武蔵嵐山渓谷 周辺樹林地)での写真教室」(報告)

十一月二十三日(日)、勤労感謝の日、トラスト三号地武蔵嵐山渓谷周辺樹林地での写真教室が行われました。



トラスト地へ向かう参加者

当日は、トラスト協会会員、一般参加者併せて二十三人が参加し、写真家の中西康雄さんを講師に実施されました。トラスト地に向かう途中の菅谷館跡の紅葉や路肩の大イチョウの黄色く色づいた撮影ポイントでは、早速参加者に具体的構図や撮り方などを熱心に指導するなど、正式な開講前

から写真教室が始まりました。トラスト地での写真教室では、レジユメを使い紅葉を写すポイントを分かりやすく説明いただき、その後、中西先生のアドバイスを受けながら、各自トラスト地内で自由に撮影を楽しみました。

トラスト二号地(狭山丘陵・雑魚入 樹林地)の保全管理作業(報告)

十二月十三日(土)、毎年恒例となっているトラスト二号地狭山丘陵・雑魚入樹林地内の保全管



熱心に作業する参加者の皆さん

理作業が実施されました。当日は、地元の堀口自治会、堀口天満天神社氏子会、(財)トトロのふるさと財団、狭山丘陵いきものふれあいの

里炭焼きの会、ライオンズクラブ国際協会330 C地区環境保全アクティビティ委員会、そして所沢市、県などをはじめ、協会ボランティアスタッフなど、総勢約八十人が参加し、トラスト地南西の約千六百平方メートル、西側道路面の雑草刈り払いなどを実施しました。

約一時間半の作業で、背丈ほどに伸びていた竹もなく、きれいに整備されました。参加された皆さん本当にお疲れさまでした。

イベントのお知らせ

参加を希望される方は、電話で協会事務局（〇四八 八二四 三六六一）へお申し込み下さい。

自然に親しむ会

「トラスト二号地（狭山丘陵・雑魚入樹林地）と狭山湖周辺での野鳥観察」所沢市にあるトラスト二号地と狭山湖周辺で野鳥観察会を開催します。

当日は、暖かい服装でご参加ください。

日時 平成十六年二月十四日（土）

午前九時三十分から正午まで（雨天中止）

集合 西武狭山線「西武球場前駅」広場

定員 三十人

参加費 会員無料、一般の方は保険料等として二百円

持ち物 筆記用具、飲み物、昼食、敷物、雨具、双眼鏡等

自然に親しむ会

「トラスト二号地（狭山丘陵・雑魚入樹林地）での自然観察会とシイタケのコマ打ち体験」

春の日差しの中、トラスト二号地での自然観察会とシイタケのコマ打ち体験を行います。もちろんコマ打ちしたホダ木は、参加した皆さんのおみやげになります。

日時 平成十六年三月二十八日（日）

午前九時三十分から正午まで（雨天中止）

集合 西武狭山線「西武球場前駅」広場

午前九時三十分集合

定員 三十人

参加費 会員無料、一般の方は保険料等として二百円

持ち物 筆記用具、飲み物、昼食、敷物、雨具、双眼鏡等

会費納入と新規会員募集のお願い

会費収入は、トラスト協会の「自然に親しむ会」や機関紙「グリーンアルファ」などの自主事業の経費として使われる、大切な自主財源です。

今年度会費が未納の会員の皆様には、本号と併せて会費納付書をお送りいたしましたので、会費の納入をお願いします。

また、さいたま緑のトラスト協会では、新規会員を募集しています。会員になると、グリーンアルファ（年四回）の送付のほか、会員証、特製の木のキーホルダーなどを差し上げます。皆様方のお知り合いの方にお声かけしていただくなど、ご協力をお願いします。

会員申込を希望する方がいらつしやいましたら、協会事務局までご連絡ください。折り返し、申込書類をお送りさせていただきます。

さいたま緑のトラスト基金への

大口寄付者の皆様（十万元以上）
（平成十五年九月～十一月）

【企業・団体】中村工業所（栗橋町）、山本食品工業（行田市）、埼玉アスファルト合材協会（さいたま市）、東和銀行（前橋市）、飯能信用金庫（飯能市）、埼玉県遊技業協同組合（さいたま市）、（株）熊谷環境分析センター（熊谷市）、（株）エコ計画（さいたま市）、（株）埼玉県馬主会（さいたま市）、マルキュー（株）（桶川市）、武州ガス（川越市）、埼玉県LPガス協会熊谷支部（熊谷市）、（社）川口法人会（川口市）、（株）石竹（さいたま市）

【個人】幸島五一（荒川村）、中谷文治（愛媛県）

〔順不同、敬称略〕

大変ありがとうございました。

新しく会員になられた方々

（平成十五年九月～十一月）

【個人会員】

安藤 宏、尾崎雄一郎、吉田一子、萩原美澄、石本 巖

【家族会員】

志岐吉雄・麻理子

〔順不同、敬称略〕

速くて、丁寧

皆様の御要望に幅広くお応えします。

印刷／企画・デザイン・編集・翻訳／出版

関東図書株式会社

〒336-0021 さいたま市南区別所三・一・十

電話 〇四八（八六二）二九〇一（代）